

ピアノ
桑原志織

2025年
シヨパン国際ピアノ・コンクール第4位

指揮
トマーシュ・ネトピル

プラハ交響楽団

TOMAS NETOPIIL
CONDUCTOR

PRAGUE

SYMPHONY ORCHESTRA

SHIORI KUWAHARA
PIANO

ベートーヴェン：「エグモント」序曲 op.84

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73 「皇帝」

チャイコフスキー：交響曲 第5番 ホ短調 op.64



2027 **1.8** (金) 19:00 開演 (18:00 開場) ザ・シンフォニーホール

全席指定 S 17,600円 A 14,300円 B 12,100円 C 9,900円(税込)

主催：ザ・シンフォニーホール

〈ご予約・お問合せ〉 ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(火曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

※ザ・シンフォニー チケットセンターでのみ取り扱いします。他のプレイガイドでの販売はございません。

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。

※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

公演の詳細は
こちら ▶▶▶



45TH
SINCE
1982
The Symphony Hall

令和8年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業



PRAGUE SYMPHONY ORCHESTRA

TOMAS NETOPILO CONDUCTOR SHIORI KUWAHARA PIANO

プラハ交響楽団

新たな年の始まりと共にチェコを代表するオーケストラ、プラハ交響楽団が来日する。輝かしい伝統を誇るこの名門オケを率いるのは、世界的に活躍する俊英指揮者、トマーシュ・ネトピル。2025年のショパン国際ピアノ・コンクールで第4位を受賞し、圧倒的な実力とのびやかな音楽性で注目を集めている桑原志織をソリストに迎え、ベートーヴェン没後200年のメモリアルイヤーの幕開けを《ピアノ協奏曲第5番「皇帝」》で飾る。「ベートーヴェンは私の軸となる作曲家。人間そのもののような音楽に真摯に向き合って表現したい」と語る彼女の演奏に期待が高まる。

後半は、チャイコフスキーの円熟期の傑作《交響曲第5番》。ネトピルのイマジネーション豊かな指揮の下、プラハ交響楽団ならではの芳醇な音色で、運命との闘いと勝利をテーマにした曲想が鮮やかに描き出されることだろう。新年にふさわしい2人の大作曲家の華やかな名曲の世界を堪能するひとときになるに違いない。

文:森岡 葉

[指揮] トマーシュ・ネトピル TOMAS NETOPILO, CONDUCTOR

2025年よりプラハ交響楽団の首席指揮者・音楽監督に就任。これまでに、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者、エッセン歌劇場の音楽総監督などを務めた。また、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団、フランス国立ロワール管弦楽団、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団、ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団など多数客演。古楽器分野への取り組みも広げており、ウィーン・コンツェントゥス・ムジクスやコレギウム1704、新アンサンブル「Silentium」と共演。また、学生に卓越した芸術教育と国際的な音楽家との交流・共演の機会を提供するため、クロメルジーシュで国際サマー・ミュージック・アカデミーを創設。2021年夏には、ドヴォルザーク・プラハ音楽祭との協力により、学生で構成される「ドヴォルザーク・プラハ青少年フィルハーモニー」を設立した。出身地のチェコでヴァイオリンと指揮を学んだ後、ストックホルム王立音楽大学でヨルマ・ハヌラ教授に師事。2002年にはフランクフルト・アルテ・オーパーで開催された第1回サー・ゲオルク・ショルティ指揮者コンクールで優勝している。



© Marco Borggreve



© W.Grzedziński/NIFC

[ピアノ] 桑原志織 SHIORI KUWAHARA, PIANO

桑原志織は、第19回ショパン国際ピアノコンクールにおいて「堂々たる風格と力強い推進力、そして気高さ」とグラモフォン誌に評され、第4位入賞を果たし国際的注目を集めた。物語を紡ぐような豊かな音楽性と高度な技巧で聴衆を魅了し、欧州各国や日本で演奏活動を展開している。東京藝術大学を首席で卒業後、ベルリン芸術大学にて修士課程および国家演奏家資格課程を最優秀の成績で修了し、スタインウェイ・ベルリン賞を受賞。また、エリザベート王妃国際音楽コンクール(2025)ファイナリスト、ルービンシュタイン国際ピアノコンクール第2位(2021)など、主要国際コンクールで高い評価を得ている。ブゾニ国際ピアノコンクール、ヴィオッティ国際音楽コンクール、マリア・カナルス国際音楽コンクールでも第2位入賞を重ねた。2026/27シーズンは、各地での凱旋リサイタルをはじめ、プラハ交響楽団との日本ツアーに参加する。加えて、ドイツやポーランドなどの欧州各地の音楽祭に招かれている。

プラハ交響楽団 PRAGUE SYMPHONY ORCHESTRA

プラハ交響楽団(FOK)は、輝かしい伝統と国際的な評価を誇るチェコを代表するオーケストラ。プラハのコンサートシーンを豊かに彩り、チェコ文化を最高レベルで海外に発信している。プラハ市の公式オーケストラとして、市民会館スメタナ・ホールを拠点に活動しているが、2031年からは、新設のヴルタフスカ・フィルハーモニーが本拠地となる予定。FOKという略称は、1934年にルドルフ・ペカレックによって設立されたこのオーケストラの音楽家たちが、映画(Film)、オペラ(Opera)、コンサート(Concert)という3つの分野から影響を受けてきたことを示す。これまでにルドルフ・ペカレック、ヴァーツラフ・スメターチェク、イルジー・ピエロフラーヴェク、ベトル・アルトリフテル、ガエターノ・デローグ、セルジュ・ボド、イルジー・コウト、ピエタリ・インキネン、トマーシュ・ブラウネルが首席指揮者を歴任し、2025/2026シーズンよりトマーシュ・ネトピルが務めている。毎シーズン、プラハで50以上のオーケストラコンサートを開催するほか、ヨーロッパ、米国、南米、トルコ、日本など国際的に演奏活動を行っている。



© Petra Hajska

ザ・シンフォニーホールの最新情報をチェック!



Instagram



X



Facebook



note